



2026年6月1日

各位

会社名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード: 6574 東証グロース)
問合せ先 代表取締役社長 上四元 絢
(TEL: 03 (3770) 1190 (代表))

(訂正) 「個別決算における特別損失の計上及び個別業績の差異に関する お知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

2026年5月15日に開示いたしました「個別決算における特別損失の計上及び個別業績の差異に関するお知らせ」につきまして、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

2026年3月期決算に係る数値の精査及び監査法人との協議の過程において、当社が保有する暗号資産（主としてビットコイン）の期末時価評価に伴う評価損△4,804百万円の損益計算書における表示区分の見直し（これに伴い表題も訂正いたします）、過年度法人税等の還付に係る未収法人税還付金の取消し（当初公表時に計上していた未収法人税還付金及びこれに対応する法人税等還付加算金208百万円について、再検証の結果、計上要件を満たしていないことが判明したため、取り消しました。）、並びに販売費及び一般管理費等のその他費用項目の精緻化等について、訂正すべき事項があることが判明したため、これらに関連する箇所の訂正を行うものです。なお、当該訂正は当社の事業活動及び業績の継続性、並びに保有暗号資産（ビットコイン）の数量及び期末時価評価額、現預金残高等の資金的事実に影響を与えるものではありません。

2. 訂正箇所

訂正箇所は以下のとおりであります。訂正箇所には下線を付して表示しております。

① 表題

【訂正前】

個別決算における特別損失の計上及び個別業績の差異に関するお知らせ

【訂正後】

個別決算における営業外費用の計上及び個別業績の差異に関するお知らせ

② 表題下のリード文

【訂正前】

当社は、本日、当社の前事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の個別業績実績値と本日公表の当事業年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の個別業績実績値との間に下記のとおり差異が生じたこと、並びに当社が保有する暗号資産（ビットコイン）に係る期末時価評価に基づく評価損を「特別損失」として計上いたしましたことを、お知らせいたします。

なお、当該差異の主因は、当社が戦略的に保有する暗号資産（ビットコイン）の期末時価評価に伴う評価損4,804百万円（特別損失「減損損失」に計上）の計上であり、当社のネイル事業の収益基盤は、前事業年度実績比で大幅に改善しております。

【訂正後】

当社は、本日、当社の前事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の個別業績実績値と本日公表の当事業年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の個別業績実績値との間に下記のとおり差異が生じたこと、並びに当社が保有する暗号資産（ビットコイン）に係る期末時価評価に基づく評価損を「営業外費用」として計上いたしましたことを、お知らせいたします。

なお、当該差異の主因は、当社が戦略的に保有する暗号資産（ビットコイン）の期末時価評価に伴う評価損4,804百万円（営業外費用「その他営業外費用」に計上）の計上であり、当社のネイル事業の収益基盤は、前事業年度実績比で大幅に改善しております。

③ 「1. 当事業年度の個別業績実績値と前事業年度の個別業績実績値との差異」

【訂正前】

（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 営業利益(△は損失) | 経常利益(△は損失) | 当期純利益(△は損失) | 1株当たり当期純利益(△は損失) |
|------------------|-------|------------|------------|-------------|------------------|
| 前期実績(A) 2025年3月期 | 3,100 | △144 | △140 | △147 | △0円34銭 |
| 当期実績(B) 2026年3月期 | 3,420 | 69 | 940 | △3,890 | △8円07銭 |
| 増減額(B-A) | 320 | 213 | 1,080 | △3,743 | — |
| 増減率(%) | 10.3 | — | — | — | — |

（注）1. 金額は百万円未満を四捨五入して表示しているため、各項目の合計と内訳が一致しない場合があります。

2. 「営業利益」、「経常利益」及び「当期純利益」の増減率につきましては、前期実績が損失（赤字）であったため、又はマイナスの変動であるため、記載しておりません。

3. 「1株当たり当期純利益(△は損失)」は、期中平均株式数（前期：433,450,800株、当期：482,201,542株）により算定しております。なお、当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき各10株（合計1株につき100株）の株式分割を行っており、前期実績は当該株式分割を遡及適用したものを記載しております。

【訂正後】

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益(△は損失) | 経常利益(△は損失) | 当期純利益(△は損失) | 1株当たり当期純利益(△は損失) |
|------------------|-------|------------|------------|-------------|------------------|
| 前期実績(A) 2025年3月期 | 3,100 | △144 | △140 | △147 | △0円34銭 |
| 当期実績(B) 2026年3月期 | 3,420 | 11 | △4,130 | △4,164 | △8円64銭 |
| 増減額(B-A) | 320 | 155 | △3,990 | △4,017 | — |
| 増減率(%) | 10.3 | — | — | — | — |

(注) 1. 金額は百万円未満を四捨五入して表示しているため、各項目の合計と内訳が一致しない場合があります。

2. 「営業利益」、「経常利益」及び「当期純利益」の増減率につきましては、前期実績が損失(赤字)であったため、又はマイナスの変動であるため、記載しておりません。

3. 「1株当たり当期純利益(△は損失)」は、期中平均株式数(前期：433,450,800株、当期：482,201,542株)により算定しております。なお、当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき各10株(合計1株につき100株)の株式分割を行っており、前期実績は当該株式分割を遡及適用したものを記載しております。

④ 「2. 差異の理由」(導入文)

【訂正前】

当事業年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)における当社の個別業績は、前事業年度実績と比較して、売上高、営業利益及び経常利益はいずれも改善した一方、当期純損失は前事業年度実績比で3,743百万円悪化いたしました。当該悪化の主因は、当社が戦略的に保有する暗号資産(ビットコイン)の期末時価評価に伴う評価損4,804百万円(特別損失「減損損失」に計上)の計上であります。当該評価損は、現金支出を伴わない非資金性の損失であり、かつ将来における暗号資産価格の回復に応じて評価益として戻入れされる性質のものであります。

【訂正後】

当事業年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)における当社の個別業績は、前事業年度実績と比較して、売上高及び営業利益はいずれも改善した一方、経常利益は3,990百万円悪化し、当期純損失は前事業年度実績比で4,017百万円悪化いたしました。当該悪化の主因は、当社が戦略的に保有する暗号資産(ビットコイン)の期末時価評価に伴う評価損4,804百万円(営業外費用「その他営業外費用」に計上)の計上であります。当該評価損は、現金支出を伴わない非資金性の損失であり、かつ将来における暗号資産価格の回復に応じて評価益として戻入れされる性質のものであります。

⑤ 「2. 差異の理由(2) 営業利益」

【訂正前】

(2) 営業利益（前期△144百万円から当期 69百万円へ転換／213百万円改善）

上記(1)に記載した売上高 320 百万円の増加に加え、販売費及び一般管理費が前事業年度 3,113 百万円から当事業年度 3,205 百万円とほぼ横ばいで推移（前期比 92 百万円の増加に止まる）した結果、営業損益は前事業年度の 143 百万円の損失から当事業年度は 69 百万円の利益へと 213 百万円改善し、黒字転換いたしました。

【訂正後】

(2) 営業利益（前期△144百万円から当期 11百万円へ転換／155百万円改善）

上記(1)に記載した売上高 320 百万円の増加に加え、販売費及び一般管理費が前事業年度 3,113 百万円から当事業年度 3,264 百万円とほぼ横ばいで推移（前期比 151 百万円の増加に止まる）した結果、営業損益は前事業年度の 144 百万円の損失から当事業年度は 11 百万円の利益へと 155 百万円改善し、黒字転換いたしました。

⑥ 「2. 差異の理由 (3) 経常利益」

【訂正前】

(3) 経常利益（前期△140百万円から当期 940百万円へ転換／1,080百万円改善）

当社が戦略的に保有する暗号資産の一部売却に伴う暗号資産売却益 667 百万円、過年度法人税等の還付に伴う法人税等還付加算金 208 百万円、受取利息 12 百万円、為替差益 7 百万円、雑収入 4 百万円等を営業外収益に計上した結果、営業外収益は前事業年度 11 百万円から当事業年度 897 百万円となり、886 百万円増加いたしました。一方、為替差損 13 百万円、支払利息 8 百万円、雑損失 5 百万円等を営業外費用に計上した結果、営業外費用は前事業年度 8 百万円から当事業年度 27 百万円となり、19 百万円増加いたしました。これにより、経常損益は前事業年度の 140 百万円の損失から当事業年度は 940 百万円の利益へと 1,080 百万円改善し、大幅な黒字転換となりました。

【訂正後】

(3) 経常利益（前期△140百万円から当期△4,130百万円へ／3,990百万円悪化）

当社が戦略的に保有する暗号資産の一部売却に伴う暗号資産売却益 667 百万円、受取利息 12 百万円、為替差益 7 百万円、雑収入 4 百万円等を営業外収益に計上した結果、営業外収益は前事業年度 11 百万円から当事業年度 690 百万円となり、679 百万円増加いたしました。一方、暗号資産（主としてビットコイン）の期末時価評価に伴う評価損 4,804 百万円を「その他営業外費用」として計上したほか、為替差損 13 百万円、支払利息 8 百万円、雑損失 5 百万円等を営業外費用に計上した結果、営業外費用は前事業年度 8 百万円から当事業年度 4,831 百万円となり、4,823 百万円増加いたしました。これにより、経常損益は前事業年度の 140 百万円の損失から当事業年度は 4,130 百万円の損失へと 3,990 百万円悪化いたしました。

なお、当初公表時に計上していた未収法人税還付金及びこれに対応する法人税等還付加算金 208 百万円につきましては、再検証の結果、計上要件を満たしていないことが判明したため、本訂正において取り消しております。

⑦ 「2. 差異の理由 (4) 特別損失の計上」

【訂正前】

(4) 特別損失の計上 (4,806 百万円)

当事業年度において、当社が戦略的投資・資金運用の一環として保有する暗号資産（主としてビットコイン）について、期末時点における暗号資産市場価格の下落を反映した期末評価により評価損が発生したことから、特別損失として暗号資産に係る減損損失 4,804 百万円を計上いたしました。これに加え、固定資産除却損 1 百万円を計上した結果、特別損失合計は 4,806 百万円となりました（前事業年度は特別損失 3 百万円）。特別損失の内訳は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

| 項目 | 前事業年度(2025年3月期) | 当事業年度(2026年3月期) |
|-------------------|-----------------|-----------------|
| 減損損失（暗号資産期末時価評価損） | 3 | 4,804 |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 特別損失 合計 | 3 | 4,806 |

【訂正後】

(4) 特別損失の計上 (1 百万円)

当事業年度において、固定資産除却損 1 百万円を特別損失として計上いたしました（前事業年度は特別損失 3 百万円）。なお、当社が戦略的に保有する暗号資産（主としてビットコイン）の期末時価評価に伴う評価損 4,804 百万円につきましては、当該評価損が当社の戦略的投資・資金運用活動から生じる継続的・経常的な性質を有することに鑑み、損益計算書における表示区分を「営業外費用（その他営業外費用）」へ組み替えております。特別損失の内訳は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

| 項目 | 前事業年度(2025年3月期) | 当事業年度(2026年3月期) |
|--------------------------|-----------------|-----------------|
| <u>減損損失（暗号資産期末時価評価損）</u> | 3 | — |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 特別損失 合計 | 3 | <u>1</u> |

⑧ 「2. 差異の理由 (5) 当期純損失」

【訂正前】

(5) 当期純損失 (△3,890 百万円、前期比 3,743 百万円悪化)

上記(4)に記載した特別損失 4,806 百万円（うち暗号資産期末時価評価損に係る減損損失 4,804 百万円）の計上等により、税引前当期純損失は 3,866 百万円となりました。これに法人税等 24 百万円を加味した結果、当期純損失は 3,890 百万円（前事業年度は当期純損失 147 百万円）となり、前事業年度

実績比で 3,743 百万円悪化いたしました。

【訂正後】

(5) 当期純損失 (△4,164 百万円、前期比 4,017 百万円悪化)

上記(3)に記載した暗号資産期末時価評価損 4,804 百万円を含む営業外費用 4,831 百万円の計上、及び上記(4)に記載した特別損失 1 百万円 (固定資産除却損) の計上等により、税引前当期純損失は 4,132 百万円となりました。これに法人税等 33 百万円を加味した結果、当期純損失は 4,164 百万円 (前事業年度は当期純損失 147 百万円) となり、前事業年度実績比で 4,017 百万円悪化いたしました。

以 上